

## (2) 教職員の指導力

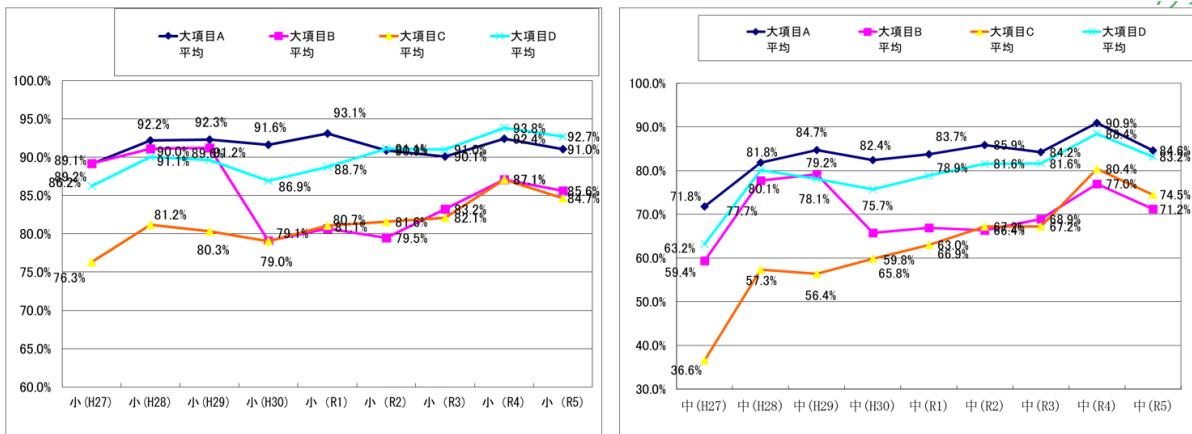
全ての教員は、学習指導要領の下、各教科等の指導を通じてめざす資質・能力を育成するために、ICTを最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが重要だが、本市の教員のICT活用指導力については、学校間、教員間でばらつきがある。

### ア 学校における教育の情報化の実態等に関する調査（教員のICT活用指導力）

当該調査は、学校教育及び教育行政のために地方公共団体において整備されたICT機器のほか、学校のインターネット接続環境、教員のICT活用指導力の状況を明らかにするための基礎資料を得ることを目的に、公立の小・中・義務・高等・特別支援・中等教育学校を対象に、文部科学省が例年3月に調査を実施し、8月に速報値、10月に確定値を公表している。

本市の結果は、以下【表5】のとおりである。

【表5】 柏市 ICT 活用指導力の推移 <sup>7</sup>



大項目A：教材研究・授業準備・評価にICTを使う力  
 大項目B：授業中にICTを使って指導する力  
 大項目C：児童・生徒のICT活用を指導する力  
 大項目D：情報モラルを指導する力

表5から小学校・中学校ともに指導力については高い水準にある。公表されている令和4年までの全国や県平均と比較すると、どちらも上回っている。

## イ 柏市 ICT 利活用調査

本市では例年 1 月に市内児童生徒及び教職員対象に利活用調査を行っている。

本市の結果は、以下【表 6】のとおりである。

【表 6】柏市 ICT 利活用調査

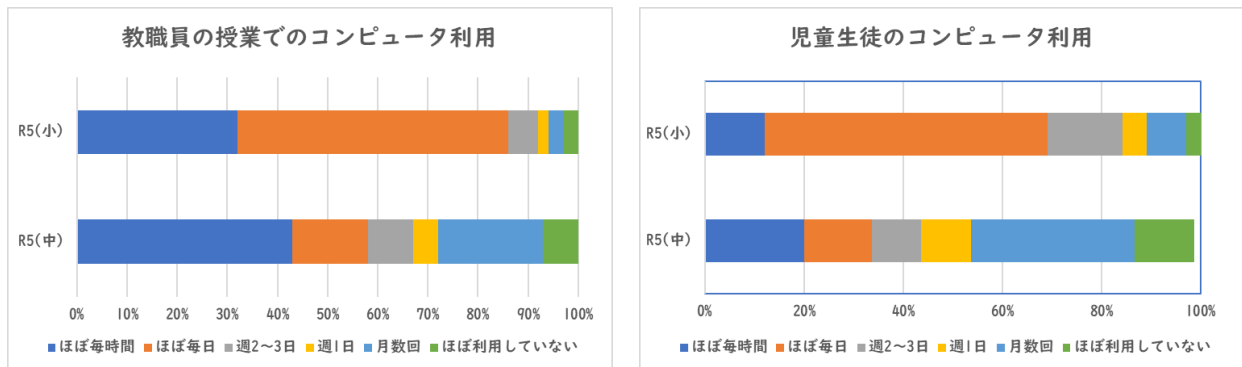


表 6 より教職員の授業でのコンピュータ利用に関して、「ほぼ毎時間」「ほぼ毎日」使っていると回答した割合は、小学校は 8 割を超えているのに対し、中学校は 6 割という状況である。

児童生徒の授業でのコンピュータ利用に関して、「ほぼ毎時間」「ほぼ毎日」使っていると回答した割合は、小学校は 7 割、中学校は 3 割という状況である。

教職員自身が授業では活用しているものの、児童生徒が使う場面を設定できていないことが課題である。

## ウ 研修の実施・受講状況

本市では教職員対象に ICT の利活用促進に向けた研修を年数回行っている。令和 5 年度実施していた研修及び、参加人数は以下【表 7】のとおりである。

【表 7】令和 5 年度研修実施状況

講座名	内容等	人数
新規採用・転入者向け Google Workspace 研修	柏市の環境を学び、Google Workspace の環境を体験する。	170名
夏季 GIGA iPad 活用研修	発達段階に応じた iPad ならではの活用を体験する。	22名
情報 ICT 端末を活用した情報活用能力の育成～まとめ表現	まとめ・表現の場面に焦点を当て、導入ツールをどのように活用するか体験する。	13名

活用	Google 活用研修～アプリ活用の具体的な場面	Google Workspace の主要アプリを使って場面ごとの活用方法を体験する。	24名
研修	Google 活用研修～共同編集ツールの有効な活用	共同編集の効果的な使い方を知り、協働的な学びの授業をイメージする。	24名
講座	ICT 端末を活用した情報活用能力を育む単元開発	業法活用能力の育成の視点での授業づくりを考える。	17名
	ICT 端末を活用した探究的な学び	具体的な探求のプロセスについて体験を通して考える。	6名
	ICT 端末を活用した情報活用能力の育成～実践事例から考える情報活用能力の育成	1人1台端末を活用した授業改善検討委員の実践事例を基にこれからの授業観について考える。	14名
	ICT 端末を活用した情報モラル教育	市で導入されている「事例で学ぶ Net モラル」の効果的な活用を体験する。	4名
	ICT 端末を活用した個別最適な学びと協働的な学び	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための ICT 活用を体験する。	15名
	ICT 端末を活用した情報活用能力の育成～比較検討場面における協働的な学び	比較検討の場面においてどのように ICT を活用し協働的な学びを充実させるか体験を通して考える。	16名
	小5担任向けプログラミング研修	小学5年算数 プログラミングを使って正多角形をかく。	41名
	小6担任向けプログラミング研修	小学6年理科 MESH を使って効率の良い電気の使い方を学ぶ。	42名

研修の課題は、夏季情報活用講座の参加率である。40名程度を定員としているが、一桁しか参加していない研修もある。また、内訳をみると中学校教員の参加率が低いことや、参加者が同一人物であることが課題である。情報モラルやリテラシーを学んでもらいたい教員の参加は少なく、意識が高い教員は積極的にどの研修にも参加している。そこで、参加を狙っている教員に参加してもらうことが課題である。

## (2) 教職員の ICT 活用指導力の向上と人材の確保

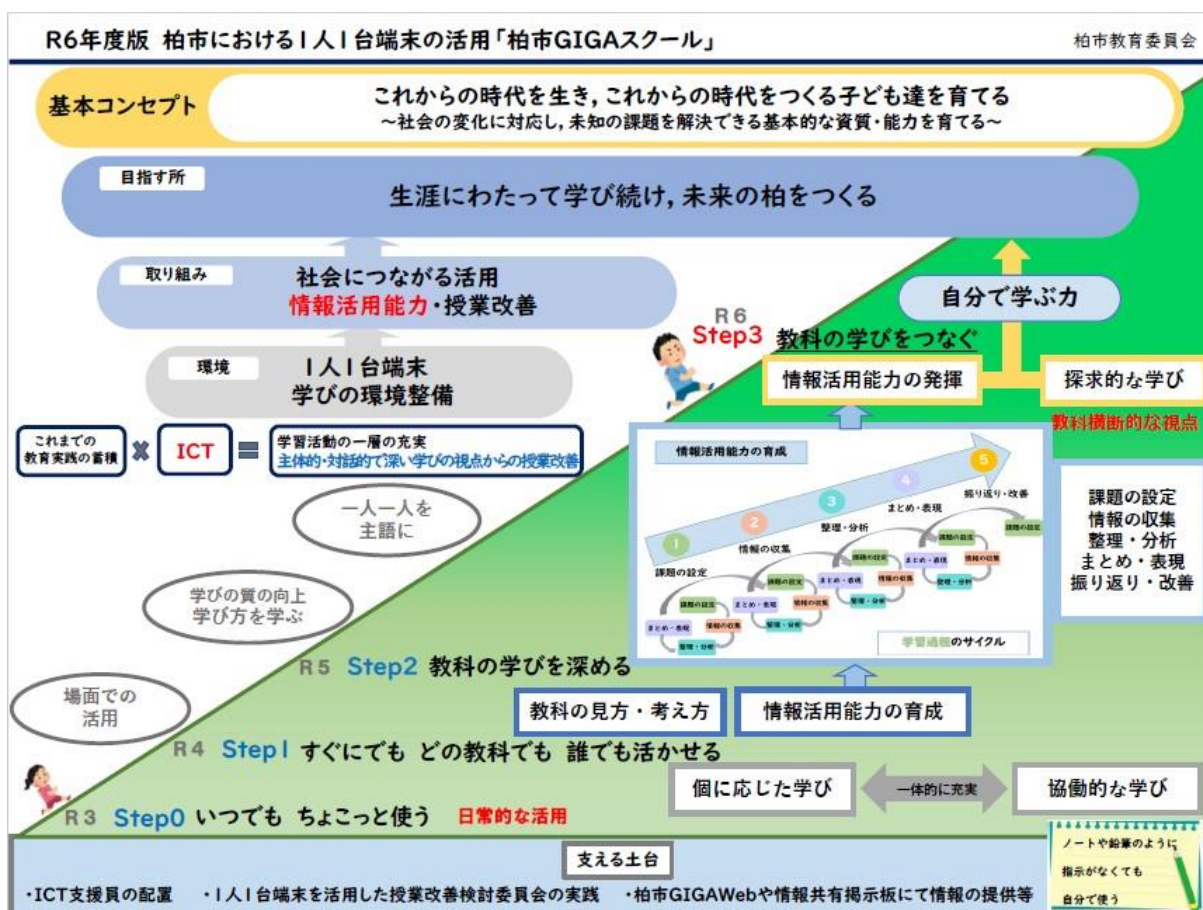
### ア 質の高い、より実践的な研修の実施

ICT 活用を学校教育の質の向上につなげるために、本市ではこれまでの教育実践の蓄積に加え、1人1台端末の整備をすることによる学びの環境整備を整えた。社会につながる活用を図るために、情報活用能力の育成及び教員の授業改善に取り組んでいる。【図1】参照

教員は ICT 機器の操作等に習熟するだけでなく、それぞれの教材・教具の特性を理解し、指導の効果を高める方法、児童生徒の ICT 活用を進める方法について、絶えず研修することが求められる。

また、校務での ICT 活用として Microsoft Teams の活用が挙げられる。校内での連絡や情報共有について、クラウドでの活用を推進している。

【図1】柏市 GIGA スクール



## イ 学校の情報化のサポート

今後の取り組みとして教員が ICT を活用して指導する力を身に付けられるよう、柏市教育委員会での研修の充実を図るとともに、指導主事による要請訪問等を通じて、各学校の要望に応じた指導だけではなく、ICT 機器の利活用促進に向けた指導を実施する。これらの ICT を活用して指導する力については、教育委員会内だけではなく、各校に在籍する専門的な知識をもった教員や外部人材、大学教授などの助言や研修を受けることが、学校の情報化を進める上で必要である。

なお、ICT の積極的な活用に向けては、教員個々の力に頼るのではなく、学校、教育委員会等が一体となって取組を進めることや、外部人材や民間事業者等の助言や支援を受けること、学校の情報化を進める上で必要である。

また、上記の「学校、教育委員会等」には児童生徒も含まれる。ICT の操作や活用方法における児童生徒の習熟は早く、児童生徒の学び合いを積極的に促すことで、主体的な学び、協働的な学びの充実が期待できる教員が効果的に活用することが求められる。

## (2) 指導力向上

### 【KGI】

子供の学びについて ICT を活用して改善することができる教員の割合  
→目標値 100%

### 【KPI】

教員が I C T 機器を活用した授業の割合を、「週 2 ～ 3 回」または「毎日」と回答する教員の割合（教職員向け ICT 端末利活用調査）

ICT 活用に係る研修を受講又は実施した教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

児童生徒の 1 人 1 台端末の家庭への持ち帰り状況（教職員向け ICT 端末利活用調査）

指導者用デジタル教科書の活用状況（教職員向け ICT 端末利活用調査）

授業中に ICT を活用して指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

児童の ICT 活用を指導する能力に関する調査のうち「指導できる」または「やや指導できる」と回答する教員の割合（文科省 学校における教育の情報化等に関する調査）

## (2) 教職員の ICT 活用指導力の向上と人材の確保

### ア 質の高い、より実践的な研修の実施

#### ①1to1 委員会

学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を通し、学校教育における質の高い学びを実現することが示されている。そこで、本市でも端末の利活用の視点から4つの Step で構成される「柏市 GIGA スクール」を設定している。基本コンセプトを「これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる」とし、生涯にわたって学び続け、未来の柏を作る児童生徒の育成を目標としている。その中で、情報活用能力を発揮していくことで探究的な学びを実現していけるような授業をデザインすることで、柏市の一步先を行く実践研究することを目的とした、1人1台端末を活用した授業改善検討委員会を立ち上げ、事例の創出と検証を行っている。

1年間研究をした成果の報告と普及を兼ねて、パネルディスカッション形式でのオンライン報告会を実施する。その中で、質疑応答をしながら事例の注意点やポイントについて伝えることで、スムーズな実践の実施にむけた共有をはかる。

#### ②アウトプットの場の設定

校内での研修の場面や中学校区での交流の場面で、自身が行っている ICT 活用の方法や、情報活用能力の育成ポイントについて、他の教員へのアウトプットを実施することで、自身の資質能力の向上や、情報の共有を図る。

#### ③年次研修での ICT 活用

初任者研修等の悉皆研修の中で、ICT の具体的な活用方法や、得られる教育的効果について、体験を通して学んでいく場を設ける。

### イ 学校の情報化のサポート

#### ①専用 Teams の設置

柏市情報共有掲示板を作り、各種問い合わせや、市教委からの情報発信、学校間での情報共有（事例・教材・アプリの使い方）など、随時発信している。

#### ②高い専門性を有する人材の確保

ICT 支援員にはコーディネーターの資格を有する者を採用しているため、アドバイザーという立場で学校に関わり、助言していく。担任からの操作に関する相談や、授業でのアプリの活用など多岐に渡り関与することが求められている。

(1) 庁舎常駐 ICT 支援員 4 名

主な支援内容

- ・IT アドバイザーメンバーの学校勤務スケジュール調整
- ・学校からの業務依頼の確認・申請など
- ・学校常駐者へのサポート
- ・学校からの追加派遣依頼対応
- ・各種アカウントの発行・停止作業
- ・転出入児童生徒のアカウント登録・削除作業
- ・学校ホームページ更新支援
- ・研修会講師・アシスタント業務

(2) 学校常駐 ICT 支援員 2 4 名（小学校大規模校 週 2 回・その他 週 1 回）

主な支援内容

- ・児童生徒へのサポート
- 各種アカウントカード印刷・配付
- 授業のアシスタント
- クラブ活動・委員会活動のアシスタント
- ・教職員へのサポート
- 授業での ICT 機器利用時の補助
- 職員向けの研修・質問対応
- ・転出入児童生徒への対応
- アカウントの発行・端末管理台帳への登録サポート
- 転出児童生徒の端末リセット作業

(3) 庁舎常駐 SE 2 名

主な支援内容

- ・インターネット環境への問い合わせ・トラブル対応
- ・GIGA 端末への問い合わせ・トラブル対応
- ・インターネットサイトのフィルタリング設定・解除



・児童生徒による危険なサイトへのアクセス管理